



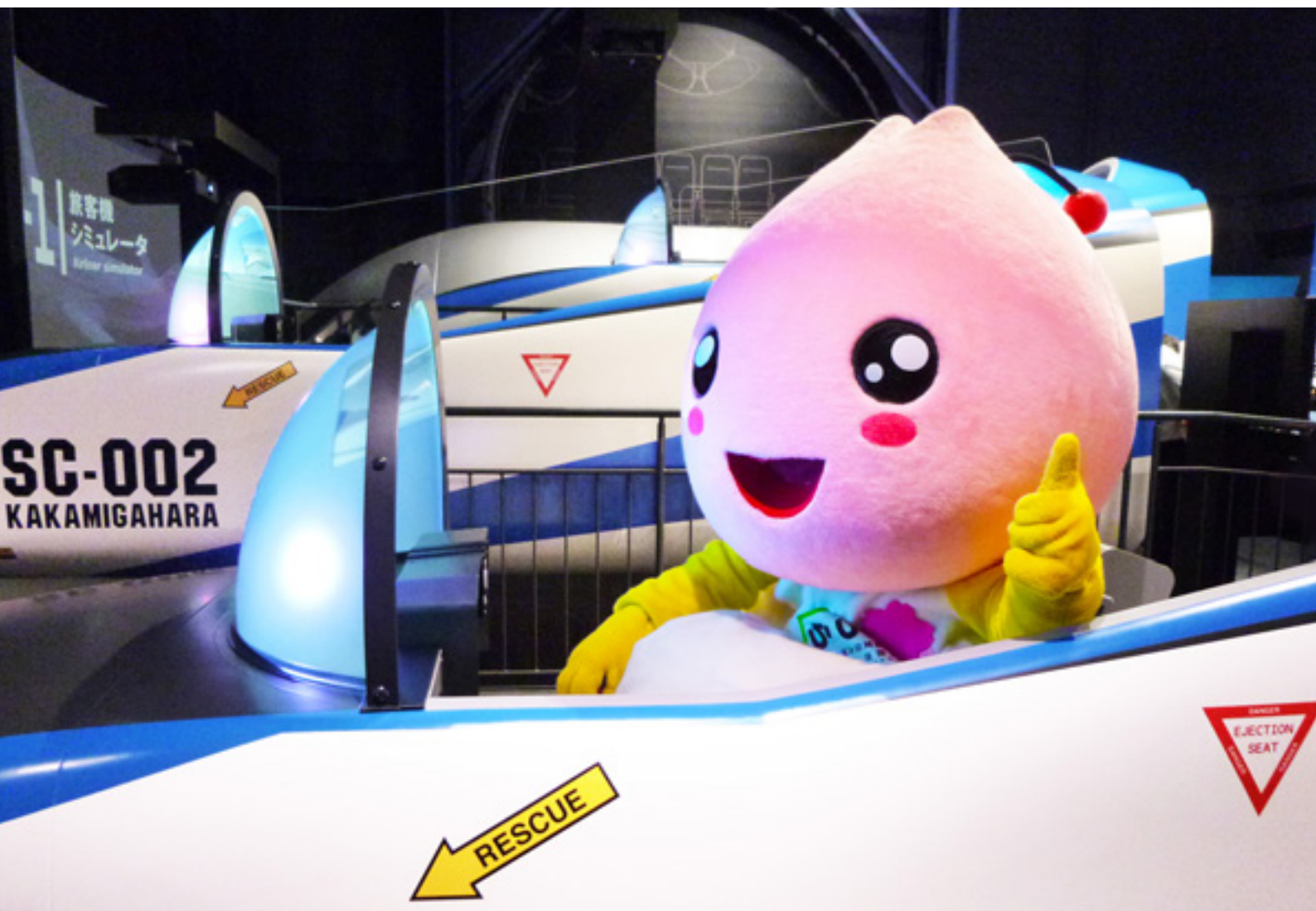
市議会だより

かかみがはら

発行
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集
市議会だより編集委員会



シミュレーターに乗る「ららら」（かかみがはら航空宇宙科学博物館）

6月定例会

主な議案	2
委員会審査	3
審議結果	4

市政を問う 一般質問

庁舎建て替えをめぐる さまざまな情報の信ぴょう性	5
博物館のリニューアル	6
放課後学習室事業の実施状況	7
都市計画マスタープランの改訂	8
消防団入団へのPR活動	9
市民の声、ひとこと	10

平成28年度一般会計補正予算

26億3449万9千円を追加
かかみがはら航空宇宙科学博物館整備事業など

平成28年第2回定例会を6月3日から6月24日までの22日間の会期で開催しました。
市長から提出された議案は、平成28年度一般会計補正予算をはじめとする26案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。

第2回定例会に市長から提出された議案は、

- ・専決処分の承認 3件
- ・予算の補正 3件
- ・条例の改正 9件
- ・財産の取得 2件
- ・市道路線の認定・廃止 2件
- ・人事の案件 3件
- ・工事請負契約の締結 4件

の合計26案件です。

主な議案内容は、次のとおりです。

平成28年度
一般会計補正予算

市役所本庁舎建て替えの早期完成に向けた新庁舎基本設計委託事業をはじめ、野菜産地強化施設

整備事業やかかみがはら航空宇宙科学博物館のリニューアル整備事業など

を実施するため、歳入歳出予算の補正を行うものです。

歳入歳出予算にそれぞれ、26億3449万9千円を追加するもので、補正後の予算総額は480億9449万9千円となりました。

歳入

○国庫支出金

2億3291万8千円

○県支出金

15億6459万3千円

○繰越金

5億4248万8千円

○市債

2億9450万円

歳入の主なもの

○新庁舎基本設計委託事業

新庁舎建設基本計画の策定を受けて、防災拠点の機能をもつ本庁舎の建て替えに向けた基本設計業務委託などのほか、基本設計に必要となる地質調査などを行うものです。

2461万9千円

○野菜産地強化施設整備事業

農林水産省の産地パワ

ーアップ事業を活用し、

ぎふ農業協同組合が本市

の特産品であるにんじんの出荷作業効率を高める

「にんじん選果場」を建設することに伴い、国の

補助金と合わせて補助を

行うものです。



新たに建設されるにんじん選果場（イメージ図）

備を整備する中学校全校のうち、契約の予定価格が1億5千万円を超える4校について、次のとおり契約を締結するものです。

▼緑陽中学校：川崎・サ

ンワ特定建設工事共同企業体 1億5984万円

▼鵜沼中学校：朝日・鈴木特定建設工事共同企業体 1億5498万円

▼桜丘中学校：シブヤ・神田特定建設工事共同企業体 1億8748万8千円

▼那加中学校：川崎・丸共特定建設工事共同企業体 1億9332万円

第162号市議会だより（5月1日発行）の記事に誤りがありました。2ページの議会人事の記事のうち、民生消防常任委員会の古田澄信委員の氏名が「吉田澄信」となっておりました。訂正してお詫び申し上げます。

訂正お詫び

その他の議案

工事請負契約の締結

平成28年度に冷暖房設

12億5044万2千円

科学博物館のリニューアルに向け、建築工事および外構工事を行うものです。

○かかみがはら航空宇宙科学博物館整備事業
かかみがはら航空宇宙科学博物館のリニューアル

平成28年度に冷暖房設備を整備する中学校全校のうち、契約の予定価格が1億5千万円を超える4校について、次のとおり契約を締結するものです。

委員会審査

総務常任委員会

平成28年度一般会計補正予算(所管分)

▼問 庁舎等建設事業費の内容は。

▽答 基本設計業務のほか、地質調査業務、敷地測量業務、新庁舎オフィス環境整備支援業務、新庁舎ICT環境コンサルティング業務を行う。

▼問 地質調査業務委託の内容は。

▽答 通常の地質調査と免震建物に必要な調査を行う予定である。

通常の地質調査とは、基礎となる杭を支持基盤まで打ち込むための調査である。

免震建物に必要な調査とは、地震が発生した時に建物がどれくらい揺れ

今期定例会に提出された各案件を詳しく審査するため、6月21日、22日の2日間で委員会を開催し、審査を行いました。
各委員会での主な質疑内容は次のとおりです。

るかという調査である。

この調査結果に基づいて、設置する免震装置の種類や揺れ幅を設計していくことになる。



免震装置(福島市役所)

民生消防
常任委員会

専決処分の承認(平成27年度介護保険事業特別会計補正予算)

▼問 積立前の基金現在高は。

▽答 6億4千万円程度である。

▼問 基金へ4億1千万円積み立てた理由は。

▽答 平成27年度から29年度までの第6期かみがはら高齢者総合プランの1年目が終わり、ある程度、事業に見通しが付いた。

また、9年後には団塊の世代の方が全て後期高齢者となることから、基金に繰越金を積み立てた。

経済教育
常任委員会

平成28年度一般会計補正予算(所管分)

▼問 航空宇宙科学博物館のリニューアルで、宇宙部門を拡大するのとどこだが、その内容は。

▽答 2階部分を増床し、全て宇宙部門にしたいと

考えている。

大気圏から地球外、太陽系外まで、宇宙全体がわかる展示物をそろえたい。

▼問 どのくらいの入館者を目指しているか。

▽答 開館当初の48万人を上回る50万人を目指している。

▼問 にんじん選果場の建設で考えられる効果は。

▽答 個々の農家で行っている洗浄、選別、箱詰め、出荷の作業を選果場で行うことになり、作業の負担が大幅に軽減されることから、作付面積の拡大につながると考えている。

建設水道
常任委員会

平成28年度水道事業会計補正予算

▼問 加圧式給水車の必要性は。

▽答 避難所となる各小中学校の受水槽の多くは、給水口からの高さが3mから4mの位置に設置されており、加圧ポンプで

水を上げる必要がある。

現在は、加圧ポンプ付きの給水タンクを数名の職員で車に積み込む作業が必要であるが、その作業に時間がかかり、迅速な給水活動に支障が出る恐れがある。

▼問 加圧式給水車の購入を補正予算で計上した理由は。

▽答 以前より購入を検討していたが、当初予算では見送っていた。

しかし、4月に熊本地震が発生し、この地域にも大地震が発生した場合を想定すると、できるだけ早い配備が必要であると判断した。



中央小学校の受水槽

審 議 結 果 (6月定例会)

○議員派遣の件(市議会だより編集に関する調査)……………	原案可決・全会一致
○木曽川右岸地帯水防事務組合議会議員の選挙(山下幸二氏)……………	当 選
○教育委員会委員の任命(鈴木みずほ氏)……………	原案同意・全会一致
○固定資産評価員の選任(岩田智也氏)……………	原案同意・全会一致
○人権擁護委員候補者の推薦(村瀬みどり氏)……………	原案同意・全会一致
○専決処分の承認(平成27年度一般会計補正予算(第5号))……………	原案承認・賛成多数
○専決処分の承認(平成27年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号))……………	原案承認・全会一致
○専決処分の承認(市税条例等の一部を改正する条例)……………	原案承認・全会一致
○平成28年度一般会計補正予算(第1号)……………	原案可決・賛成多数
○平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)……………	原案可決・全会一致
○平成28年度水道事業会計補正予算(第1号)……………	原案可決・全会一致
○市税条例等の一部を改正する条例……………	原案可決・全会一致
○市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 の一部を改正する条例……………	原案可決・全会一致
○地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条 例の一部を改正する条例……………	原案可決・全会一致
○指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を 定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備 及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のた めの効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する 条例……………	原案可決・全会一致
○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を 改正する条例……………	原案可決・全会一致
○個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正す る条例……………	原案可決・賛成多数
○消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例……………	原案可決・全会一致
○道路占用料徴収条例の一部を改正する条例……………	原案可決・全会一致
○都市景観条例の一部を改正する条例……………	原案可決・全会一致
○財産の取得(地方自治体情報セキュリティ強化対策事業機器)……………	原案可決・賛成多数
○財産の取得(水槽付消防ポンプ自動車)……………	原案可決・全会一致
○市道路線の認定(市道蘇南132号線ほか2路線)……………	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定(市道蘇北731号線ほか2路線)……………	原案可決・全会一致
○工事請負契約の締結(中学校冷暖房設備整備工事(機械))……………	原案同意・全会一致
(緑陽中学校・鵜沼中学校・桜丘中学校・那加中学校)	

市政を問う 一般質問

6月16日、17日、20日の3日間で一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

津田忠孝、横山富士雄、瀬川利生、波多野とつめ、杉山元則、
黒田昌弘、池戸一成、水野盛俊、太竹大輔、五十川鈴子、梅田利昭、
岩田紀正、仙石浅香、三丸文也、足立孝夫、永沼明子、坂澤博光

庁舎建て替えをめぐる

さまざまな情報の信ぴょう性

▼問 「劣化対策」をすればコンクリート寿命は延びるとの情報があるが、本市でもこのようなことができるのか。

▼答 コンクリートの寿命は、環境や施工状況などに左右されるため、正確に把握することは困難である。

劣化対策で具体的にどれだけコンクリート寿命を延ばすことができるか判定することはできない。

▼問 耐震補強の費用は建て替えの10分の1の負担で行えるのか。

▼答 本庁舎を耐震補強する場合、屋内にも多数の補強ブレースが必要と

なることから、いながらの改修はできず、仮設庁舎が必要となる。

また、老朽化した設備などの改修も必要となることから、概算事業費は約48億円を想定しており、建て替え費用の10分の1の負担で耐震補強を実施することは不可能である。

▼問 本庁舎の建て替えは100億円を超える可能性もあるが、本市には支出する力がないのか。

▼答 事業費は将来の建設物価の上昇も想定した上で、仮設庁舎有りの場合は約88億円、仮設庁舎無しの場合は約80億円と試算した。

財源は、事業費相当分まで基金を計画的に積み立てて活用することになっているため、支出する力が無いということはない。

▼問 建て替え以外の方法だと早く耐震化を完了できるのか。

▼答 耐震補強のみを行う場合でも、整備方針の検討や事業の決定、耐震補強計画の策定、補強計画の妥当性を評価する第三者機関の評価取得、内部改修などの基本設計、補強計画に基づく実施設計、さらに補強工事には新庁舎の建設と同じような工事期間がかかると考えられる。

決定に至る検討期間も要することから1年や2年で事業を決定し、完了できるものではない。

▼問 国の補助はほとんど

ど期待できないのか。

▼答 新庁舎建設事業の財源として、岐阜基地に関連する防衛省の補助金を要望していく。

災害対応と 業務継続計画

▼問 災害時の初動体制、職員参集体制は。

▼答 地震の規模に応じ、あらかじめ指定した職員が避難所の設置や災害対策本部を設置することとしている。

震度6弱以上の地震が発生した場合は、職員全員が市役所や避難所などの持ち場に参集して、災害対応に当たる。

風水害への対応は、気象状況により必要な職員を段階的に招集し、災害への警戒や応急対策業務を実施する。

▼問 大規模災害が発生した場合に、業務の継続に必要な「業務継続計画」を策定する考えは。

▼答 熊本地震による市

役所などの被災状況から、業務継続計画の重要性を再認識したところである。現在、災害対策本部が設置された時の各班の行動計画を見直しており、8月をめどに地震発生後2週間の行動についての計画を策定することとしている。

業務継続計画は、最新の設備、機能を持った防災拠点となる新庁舎の基本設計完成に合わせ、平成30年春をめどに策定する予定である。

そのためにも、まずは研修会への参加や専門家からの直接指導など、必要な教育を実施する。



職員救命講習

博物館のリニューアル

子どもたちの夢をばぐくむ施設へ

▼問 県と市で行う航空宇宙科学博物館リニューアルの総事業費が、基本構想段階の30億円から48億円余に増えた理由は。

▽答 主な要因は3つあり、1つ目は、市が負担すべきものとされていた外構工事や収蔵庫などの周辺施設の整備費用を博物館リニューアル事業の総事業費の中に新たに組み込んだことによるものである。

2つ目は、リニューアル設計時の調査により、既存建物の改修の詳細な内容が判明したことによるものである。

博物館は建築から20年間計画的な改修が行われておらず、今回建物を調査した結果、屋根の構造を全面的に改修する必要があると判明した。

また、長期的な運営を考え、施設の照明を全面的にLED照明に取り換えるなど、トータルコストの削減を図るために改修する内容を広げたことである。

3つ目は、博物館の在り方を検討する有識者によるワーキンググループの意見を反映したことである。

例えば、グッズショップや飲食スペースの拡充が必要という意見などがあつた。

事業費が48億円余になったのは、建築と展示の設計を進める中でより正確に費用の全体像を把握した結果である。

▼問 リニューアル事業費のうち、市と県の負担割合は。

▽答 基本構想の時点では、県が「建築の増築部分と展示の宇宙ゾーン」を、市が「既存建物の改修部分と展示の航空機ゾーン」を負担し、負担割合は県が20億円、市が10億円となっていた。

しかし、リニューアル事業の枠組みを見直し、負担について再度協議した結果、県が約33億9千万円、市が約14億9千万円の負担となり、2・3対1の負担割合となる。

▼問 運営体制にも県の支援はあるのか。

▽答 今後は県と市が協議会を設置し、協議会が決定する方針のもとで自主的な運営を行う法人を設立する予定であり、設立時から人的支援として県職員を派遣してもらう予定となっている。

運営経費は、県と市が折半で負担することとなっているが、今後、法人の設立時に必要な基本財産の負担方法などを具体的に検討することになる。

さらに、県美術館、県博物館などの学芸員の方が運営から得たノウハウやアイデアなどの、ソフト面での支援もいただきながら、博物館の運営方

法をより充実させていきたいと考えている。

▼問 博物館に残すべき遺産についてどのような考えか。

▽答 博物館が後世に伝える遺産とすべきものは、各務原の地で航空機開発に携わった先人達の「涙と汗の物語」であり、貴重な実物資料である。

博物館で所蔵している資料の中には、航空機開発の歴史を語る遺産と呼ぶにふさわしい貴重な資料がある。

このような資料に加え、実機の開発経緯などに関する資料の収集に努めていきたいと考えている。

▼問 子どもたちの夢と誇りを育てるというリニューアル計画になっているのか。

▽答 展示については、分かりやすいストーリー展開や見やすいエリアの配置を行うなど、小中学生が博物館で1日過ごせるプログラムの開発にも取り組んでおり、リニューアルに込めた当初の思

いは、より現実的なものとして浮かび上がってきている。

4月には、リニューアル第一弾として、シミュレーターなどを整備したが、体験している子どもたちの笑顔を見ると、方向性に間違いはなかったと確信した。

この秋から本館工事に取にかかることになり、事業は一層本格化していくが、子どもたちの夢をばぐくむ施設にするという大きな目標に向け、力強く取り組んでいく。



新たに設置された飛行機シミュレーター

放課後学習室事業の実施状況

自分のペースで学習に取り組む

▼問 放課後学習室事業の中学生への実施状況は。

▽答 中学生の放課後学習室「らうら学習室」は、基礎学力を身に付けたい生徒や学習の仕方が分からないと感じている生徒に対し、年間40回の予定で毎週木曜日に2時間行っている。

現在、川島ライフデザインセンターでは21人、中部学院大学では36人の生徒が参加しており、どの生徒も自分のペースで学習に取り組んでいる。

▼問 本市で組み体操を実施している学校は。

▽答 平成27年度に実施した学校は、中学校0校、小学校12校である。

平成28年度は、中学校0校、小学校で既に実施した学校が1校、実施予定の学校が3校、検討中の学校が4校で減少傾向である。

▼問 過去の組み体操で事故の件数と内容は。

▽答 平成27年度の事故件数は、2人技の練習中に発生した3件で、捻挫と打撲でいずれも軽症である。



組み体操の様子

▼問 各学校に対し、組み体操の実施についてどのような通知をしたか。

▽答 組み体操の実施に当たっては、校長の責任のもと組織的な指導体制の構築、児童生徒の体力の状況、指導者の専門性

などを配慮して実施するよう通知した。

併せて、救急体制の整備や児童の安全を最優先した指導の徹底、練習の段階的・計画的実施、技の適切な選択について指導している。

▼問 性同一性障害などの性的少数者の児童生徒への支援は。

▽答 児童生徒や保護者が気軽に相談できるよう、青少年教育課の「ほっとステーション」や学校教育課の生徒指導相談、あすなろ教育支援センターでの教育相談など、複数の相談窓口を設けている。教育委員会や学校、関係機関が連携を図りながら、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援していく。

地域力の向上

▼問 本市の自治会加入状況は。

▽答 自治会への加入状

況は、全国的にも減少傾向にあり、岐阜県内21市の平均でも平成27年度77%、28年度76.4%となっている。

本市においても、平成27年度80.2%、28年度79.6%と同様の傾向にある。

▼問 自治会の役割は。

▽答 住民意識の多様化に伴い、地域のつながりが希薄になりつつある中で、お互いのコミュニケーションを図り、地域の問題に対処していくことが自治会の大きな役割であると考えている。

▼問 加入するメリットは。

▽答 自治会では地域の清掃・美化活動をはじめ、防犯・防災活動、お祭り、市民運動会など地域コミュニティや相互扶助の精神のもと、年間を通じてさまざまな活動を行っている。

活動に参加することで地域住民の横のつながりができ、お互いを知る機会になると同時に、子ど

もや高齢者がいる家庭にとって、近所の方に家族の顔を覚えてもらう機会となり、防犯対策や地域の見守りなどの安心安全にもつながると考えている。

▼問 地域のつながりや近隣住民との結びつきが非常に大切であると考え、それを目指す自治会の活動に対してどのような支援を行っているのか。

▽答 地域の親睦や活性化など、地域力を高める取り組みを行う自治会活動に対し、自治会振興交付金を交付している。

また、自治会で行う地域の美化活動や安全活動、自主防災活動で使用する用具の購入に対して補助を行う自治会地域社会活動事業補助金の内容を平成26年度から充実し、積極的に活用していただいている。

地域力を高める先進的な取り組みがあれば、広報紙や自治会連合会を通じて紹介していく。

都市計画マスタープランの改訂

集約型都市構造の形成などを目標

▼問 主要道路における交差点改良の方針は。

▼答 平成28年度より、集約型都市構造の形成などを目標とした新しい都市計画マスタープランがスタートした。

同プランでは、交差点改良について、①幹線道路の整備促進による改良、②交差点などへの交通集中による渋滞の解消、③生活道路への迂回車両の流入の排除という3つの方針がある。

その方針に基づき、右折車線の設置などの改良を進め、安全で快適な生活環境を確保する。

▼問 いちよう通りにおける交差点改良の状況は。

▼答 日野岩地大野線との交差点は、平成27年度までに主要な用地取得を完了しており、工事中日野岩地大野線と併せて、平成30年度の完成を目標

として整備を進めている。那加中通りとの交差点は、平成27年度までに用地取得を完了しており、平成28年度に完成する。

ろっけん通りとの交差点は、特に丁寧な説明を行い、平成31年度の完成を目指して事業を進める予定である。



那加中通りの交差点

▼問 新愛岐大橋建設の進捗よく状況は。

▼答 事業主体である岐阜県では、平成27年度に橋部分の設計がおおむね

完了し、現在国と協議を行っている。

愛知県では、橋への取り付け道路の整備にあたり、住民アンケートを実施するなど、地域の合意形成を進めている。

国との協議や、地域の合意が整った後に、橋本体の工事に着手できると考えている。

▼問 犬山東町線バイパス整備の進捗よく状況は。

▼答 犬山橋から国道21号線坂祝バイパスまでの区間のうち、市は、犬山橋から新鷺沼駅前までの区間の整備を行っている。埋蔵文化財の発掘調査が予定以上に期間を要したことなどから、平成28年度中の完了は難しい状況であり、事業期間を2年間延ばす手続きを進めている。

その他の区間については、県が交通量調査を実施し、事業評価検討業務を行っている。引き続き、事業着手に向け、県に強く要望していく。

都市公園の整備

▼問 都市公園の今後の整備方針は。

▼答 都市公園は、都市の防災性を向上し、震災発生時の集結場所、地域コミュニティ活動の場の提供など、安全で豊かな市民生活を実現する上で大切なものであり、緑の基本計画に基づき、整備方針を定めている。

人口増加が見込まれる地区では新設の検討をし、老朽化した公園は利用状況などに応じたりリニューアルを行っている。

また、公園が小さく利用しづらい地区では、公園の再編整備を行う。

▼問 リニューアルした都市公園の整備内容は。

▼答 段差の少ない園路やバリアフリー対応のトイレ、高齢者向けの健康遊具などを設置した。ワークショップを開催し、その地域の実情に適



上空から見た総合運動公園

した整備を行っている。

▼問 鷺沼西町地内に大型店舗の計画が有るのか。

▼答 大型店舗の出店について、具体的な計画の相談を受けている。

出店にあたっては、関係機関と協議を行う必要がある。

▼問 大型店舗ができた場合、通学路の安全対策は。

▼答 交通量はさらに増加すると考えられ、これまでに以上に通学路の安全対策が急務となる。

今後、事業者などと協議しながら、通学路に歩道を設置するなどの安全対策について検討する。

消防団入団へのPR活動

学生消防団の結成を目指す

▼問 学生が消防団活動をするについてどのように考えるか。

▽答 若い世代が消防団に入団することは、地域防災力の向上につながる。とともに、消防団員を長期的に確保していくためにも重要である。

また、学生自身にとっても、防災に対する知識や技術が身につくとき、地域社会の一員として安全、安心に貢献しているという自覚や誇りを感じるこ



消防団活動の様子（消防操法大会）

とができるなど、さまざまな意義があると考えている。

▼問 市内の大学に対して、消防団のPRをする考えは。

▽答 大学関係者に学生消防団のPRをしたところ、関心を持っていただけた。

詳細が決まり次第、直接、学生に入団を呼びかける予定である。

▼問 学生消防団が結成された場合、どのような活動を行うのか。

▽答 消防団活動の全ての活動に参加する「基本団員」ではなく、負担を軽減し、能力を活かした特定の活動を行う「機能別団員」としての活動を考えている。

保健衛生や看護などの知識がある学生には救命講習の補助を、子どもの教育を学んでいる学生に

は紙芝居や人形劇などを通じて火災予防の啓発活動などを行っている。と考えている。

骨髄ドナー助成

▼問 白血病の状況は。

▽答 平成26年の統計によると、白血病による死亡者数は全国で8196人、県は135人、本市は8人となっている。

現在は、骨髄バンク事業の実施により、ドナーが見つかるようになっていくが、職場の休業補償制度が無いなどの理由で、移植に至るのは6割程度となっている。

▼問 骨髄ドナー助成制度を創設する考えは。

▽答 岐阜県では、ドナー登録者数が全国平均を下回っていることから、登録者数の増加を目指し、市町村に対する骨髄ドナー助成事業を開始した。本市もこれを受けて、移植に対する安全性の確



骨髄ドナー登録のしおり

保、提供者の健康保護を前提として、正しい知識の普及に努める。

また、提供希望者が経済的な理由などで提供を断念することなく、一人でも多くの患者が移植を受ける機会が得られるように「骨髄等ドナー助成制度」を早期に実施する。

成年後見制度

▼問 相談窓口はどこにあるのか。

▽答 障がいのある方は、社会福祉課や障がい者相談支援事業所を、高齢者

の方は、高齢福祉課や地域包括支援センターをそれぞれ相談窓口としている。

また社会福祉協議会では「生活相談センターさぽーと」を立ち上げ、成年後見制度を含む権利擁護の相談を行っている。

▼問 相談件数は。

▽答 平成27年度は、市役所で10件、地域包括支援センターで66件、生活相談センターさぽーとで79件の計155件であり、増加傾向である。

▼問 今後の取り組みは。

▽答 広く周知するため、現在行っているガイドブックの配布に加え、介護事業者などに対し、制度に関する研修を行う予定である。

今後、認知症高齢者などの増加が見込まれることから、成年後見人の新たな担い手として、市民後見人を養成することも重要である。

社会福祉協議会など専門の方と連携を図り、体制整備に努める。



こんな街がいいな！

～わたしたちの夢、願い～

自治会役員になって



緑苑東
高橋 渡さん

私は、昨年「舌がん」の宣告を受け、11月に舌の3分の1を切除する手術を行い、現在も抗がん剤治療を行っています。

今年の4月より緑苑自治会連合会の副会長をお引き受けして活動することになり、各種行事の成功に向けて数多くの自治会員の皆さんの協力を頂きながら日々奮闘しています。

少子高齢化が進む中、自治会もさまざまな課題が浮き彫りになってきていますが、これからは行政としっかり連携を図りながら、少しでも自治会活動が活発にそして、発展していけるよう努力していきたいと思っています。

おしゃべりは楽しい



つつじが丘
江上 明日香さん

私が勤めている会社が、今年の4月から移動スーパーを始めました。

お客さまの買い物が終わると、ご自宅前でついつい立ち話に花が咲きます。

地域や家族、テレビドラマのことなど話題は尽きません。

おしゃべりは楽しいですね、元気がわいてきます。

雑誌や新聞を読んでいると無縁社会という言葉が出てきますが、私たちの大好きな各務原市にはそんな言葉は似合いません。

「地域の元気はおしゃべりから」をモットーに今日も元気にしゃべりに…。

いや、移動スーパーに行ってきます。

絵本っていいな



神置町
岩田 代茲子さん

私は子どもたちに絵本の読み聞かせボランティアをしています。

図書館・小学校で読み聞かせをすると子どもたちは目を輝かせ、じっとお話に聞き入ってくれます。

楽しい本の世界を伝えたい、また豊かな心、優しい心を絵本を通して感じてほしいと思い、読み聞かせをしています。

しかし実は、読み手の私の方が、子ども達からたくさんの喜びや、元気をもらっています。

もし、こんな街があったらと夢を語るとしたら、学びの森の一角に、赤ちゃんからお年寄りまでがふれあえるお話会や、朗読会の出来る小さなお家があったらいいなと思います。

ひょうしつ

▼委員長 仙石 浅善
議会では一般質問を行います。

事前に質問の通告をして、市長をはじめ、執行部が答弁します。

質問に対して議場にいる執行部以外の職員が、約100名待機して答弁にそなえます。

質問も真剣、答弁も真剣です。

そうでなければ税金の無駄遣いです。

市民の皆さんもぜひ議会に傍聴に来てください。

▼副委員長 岩田 紀正
6月議会では、17名の議員が登壇し、予備日を含めた3日間というボリュームのある一般質問になりました。

そのため、今回の市議会だよりでは、市役所本庁舎建て替えや航空宇宙科学博物館リニューアルなど、市民の皆さんの関心の高いテーマを中心に、一般質問の紙面を拡大して議会での活発な議論を

市議会を見にきませんか？

平成28年9月定例会の日程（予定）

9月12日	本会議 開会
9月26日・27日	本会議（質疑・一般質問）
9月29日～10月4日	常任委員会
10月 7日	本会議 閉会

※日程は議事の都合により変更になる場合があります。

掲載しました。
次回は、平成27年度決算を認定する議会となりますので、次号の市議会だよりで決算について分かるとおもいます。
皆さんお楽しみに！
市議会だより編集委員会
委員長 仙石浅善
副委員長 岩田紀正
委員 黒田昌弘
委員 大竹大輔
委員 瀬川利生
委員 坂澤博光



環境保護のため植物インキを使用しています。